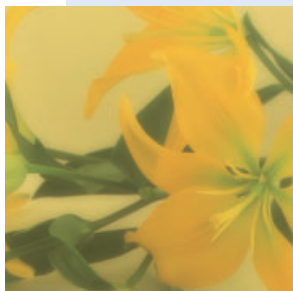
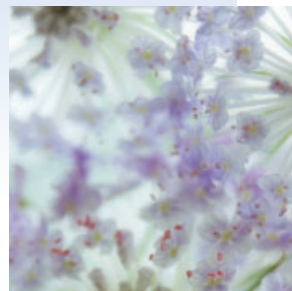


株主の皆様へ

第10期 報 告 書
平成20年1月1日 ▶ 平成20年12月31日



アンジェス MG株式会社





代表取締役社長 山田 英

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

私どもアンジェス MG株式会社は、大阪大学の研究成果を基に平成11年12月に発足した遺伝子治療薬に代表される遺伝子医薬の開発と実用化を目指すバイオベンチャーです。

『人類が授かった尊い遺伝子の力を借りて画期的な遺伝子医薬を開発し、人々の健康と希望にあふれた暮らしの実現に貢献します』

これが当社グループの企業理念です。

当期については、創業以来開発に注力してきた虚血性疾患治療剤「コラテジェン」(HGF遺伝子治療薬)が国内で製造販売承認申請に至りました(適応症は、重症虚血肢を有する閉塞性動脈硬化症及びバージャー病)。本剤は、血管新生を促して虚血状態の改善を図る遺伝子治療薬であり、従来の薬物とは異なる新しい作用機序を有するため、従来の薬物療法で効果が不十分な患者、手術の施行が困難な患者様等に効果が期待されています。当社としては、今後も本剤を患者様に一日でも早くお届けできるように努めてまいります。

また、米国のバイオマリンファーマシューティカル社から導入したムコ多糖症VI型治療薬「ナグラザイム」については、3月に国内で製造販売承認を取得し、4月に発売いたしました。本剤は、海外では既に発売されていたにもかかわらず国内では開発が遅れていた医薬品であり、当社は、本剤の発売により患者様にとってかけがえのない医薬品を供給できたことを大変嬉しく思っています。ムコ多糖症VI型に代表される遺伝性疾患は患者数が少ない領域ですが、当社にとっては貴重な収益源に育成できるとみており、本領域の医薬品開発については今後も積極的に取り組んでいきたいと考えております。

一方、次期については、コラテジェンの米国開発及びNF- κ Bデコイオリゴの国内開発のパートナー確保を最優先する方向で事業を進めます。新たなパートナー企業が決定次第、各々のプロジェクトについて治験の最終段階(第Ⅲ相臨床試験)に入る予定です。

株主の皆様には今後とも格段のご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

当社グループでは以下のプロジェクトを中心に研究開発を行っております。
開発リスクの分散を図るため、他企業の開発品の導入も行い、パイプライン
(開発品目)の充実を図っております。

開発パイプラインの状況

医薬品開発の状況

(2009年2月現在)

自社品

プロジェクト	対象疾患	地域	前臨床	第I相	第II相	第III相	申請	承認	提携先
コラテジェン (HGF遺伝子治療薬)	末梢性血管疾患	日本	→						第一三共株式会社
		米国	→						未定
	虚血性心疾患	日本	→						第一三共株式会社
		米国	→						未定
パーキンソン病		→						未定	
NF- κ B デコイオリゴ	アトピー性皮膚炎	日本	→						未定
		欧米	→						トランスクリプションファクター セラピューティックス社 (米)
	炎症性腸疾患	欧米	→						
	乾癬	米国	→						
		欧州	→						アヴォンテック社(独)
血管再狭窄予防		→						メディキット株式会社 株式会社ホンカワ粉体技術研究所	

提携開発品

プロジェクト [開発企業]	対象疾患	地域	前臨床	第I相	第II相	第III相	申請	承認	上市	当社の権利
ナグラザイム [当社]	ムコ多糖症VI型	日本	→							日本の開発、販売権
Allovetin-7 [バイカル社(米)]	メラノーマ	米国	→							米国等売上高に対するロイヤリティ受取権、アジアの開発販売権
STAT-1デコイオリゴ [アヴォンテック社(独)]	喘息	欧州	→							アジア地域の製造、開発、販売権
	乾癬	欧州	→							アジア地域の製造、開発、販売権

連結子会社ジェノメディア株式会社の開発品

開発コード	対象疾患	地域	前臨床	第I相	第II相	第III相	申請	承認	提携先
GEN0101	前立腺癌	日本	→						株式会社TSD Japan

虚血性疾患治療剤「コラテジェン」：国内において製造販売承認申請

虚血性疾患治療剤「コラテジェン」（HGF遺伝子治療薬）については、重症虚血肢を有する閉塞性動脈硬化症及びバージャー病を適応症として、平成20年3月に国内において製造販売承認申請をいたしました。現在は、他の新医療用医薬品と同様に規制当局による審査を受けております。国内については、第一三共株式会社との独占的販売契約の下で、両社でコラテジェンの上市に向けた準備を進めてまいります。

NF- κ Bデコイオリゴ：国内での第Ⅱ相臨床試験の成績を公表

NF- κ Bデコイオリゴの開発では、アトピー性皮膚炎を対象とする国内での第Ⅱ相臨床試験において、いくつかの評価指標で有効性を示唆する結果が得られました。安全性については、副作用の発生頻度でプラセボ群と差はありませんでした。当社は、新たなパートナー企業を決定次第、第Ⅲ相臨床試験を進めたいと考えております。

ムコ多糖症Ⅵ型治療薬「ナグラザイム」：国内での自社販売を開始

ムコ多糖症Ⅵ型治療薬「ナグラザイム」の国内での製造販売承認を平成20年3月に取得し、同年4月に発売いたしました。本剤は、当社にとって製造販売承認を取得し、自社販売する初めての製品となりました。ナグラザイムは、ムコ多糖症Ⅵ型患者で欠損している酵素を外部から補う、いわゆる酵素補充療法を目的として開発された薬剤です。

GEN0101：前立腺癌分野において国内でのライセンス契約を締結

GEN0101については、当社子会社ジェノミディア株式会社において前臨床試験を進めておりますが、平成21年1月に株式会社TSD Japanに対し、前立腺癌分野の国内での独占的製造、開発、販売権を供与するライセンス契約を締結いたしました。

なお、本剤開発は、平成20年11月に採択された先端医療開発特区（スーパー特区）の「免疫先端医薬品開発プロジェクト－先端的抗体医薬品・アジュバントの革新的技術の開発」で免疫を強める治療薬の開発プログラムのひとつとなっております。

1 「コラテジェン」(HGF遺伝子治療薬)

血管が詰まり血流が悪くなっている虚血性疾患に対して、血管を新生するというこれまでにない治療薬を目指し、HGF^{*1}遺伝子治療薬の開発を進めております。

血管が詰まることにより生じる病気には、末梢性血管疾患^{*2}や、虚血性心疾患^{*3}があります。手術ではなくHGF遺伝子を注射で患部に注入するという簡便な方法で血管を新生させ、詰まった部分をバイパスして新しい血流をつくり、虚血を改善することを目指しております。

【開発状況】

国内においては、重症虚血肢を有する閉塞性動脈硬化症及びバージャー病を適応症として、平成20年3月に国内において製造販売承認申請をいたしました(トピックス参照)。

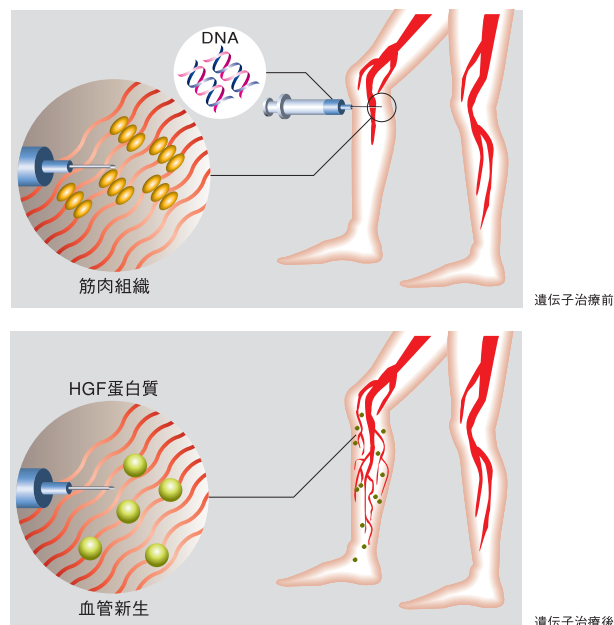
米国では、当社米国子会社が第Ⅲ相臨床試験の準備を本格化しております。具体的には、平成20年6月に米国FDAとの第Ⅱ相臨床試験後相談(End of Phase II Meeting)を終え、現在は第Ⅲ相臨床試験の詳細計画の作成に移行した段階です。

【提携状況】

国内においては、末梢性血管疾患及び虚血性心疾患分野について第一三共株式会社と独占的販売契約を締結しております。

米国及び欧州においては、末梢性血管疾患及び虚血性心疾患分野について第一三共株式会社と締結していた独占的販売契約が平成21年2月に終了しており、現在準備中の第Ⅲ相臨床試験については、今後、新たなパートナーを決定次第、開始したいと考えております。

注射によるHGF遺伝子治療(末梢性血管疾患)



用語解説

※1 肝細胞増殖因子 (Hepatocyte Growth Factor)
肝細胞から発見された増殖因子で、血管新生作用を有するほか、器官形成や傷害に伴う組織・器官の再生において重要な役割を担います。

※2 末梢性血管疾患 (Peripheral Arterial Disease)
四肢の末梢血管が閉塞することにより下肢が虚血状態に陥り、しびれ、冷感、間歇性跛行、安静時疼痛、下肢潰瘍などの症状を示す閉塞性動脈硬化症やバージャー病があります。

※3 虚血性心疾患 (Ischemic Heart Disease)
心臓を養う動脈(冠動脈)がある程度狭窄することにより心臓に十分な血液が流れず、胸苦しさや胸痛などの症状を示す狭心症や、冠動脈が完全に閉塞し心筋組織が虚血状態になる心筋梗塞があります。

2 NF- κ Bデコイオリゴ

NF- κ BデコイオリゴはNF- κ Bによる過剰な免疫反応を原因とする病気を治療することが期待されています。

NF- κ Bとは免疫及び炎症反応を強める遺伝子のスイッチ役を担う転写因子で、アレルギー疾患及び自己免疫疾患の発症に重要な役割を果たしていると考えられています。

NF- κ Bという鍵がゲノムという鍵穴と結合する前に、デコイ（おとり）を使って、鍵穴に鍵が入るのを防ぐわけです。NF- κ BデコイオリゴはNF- κ Bと結合してその働きをブロックします。

対象となる病気には、アトピー性皮膚炎、乾癬、関節リウマチなどがあります。これらの病気では、免疫反応を強める遺伝子が過剰に働いており、NF- κ Bデコイオリゴによって遺伝子の発現を調節することで、病気の治療を期待することができます。

【開発状況】

アトピー性皮膚炎を対象とする国内での第Ⅱ相臨床試験において、いくつかの評価指標で有効性を示唆する結果が得られました。また、安全性については、特に問題はみられませんでした。

【提携状況】

国内においては、アトピー性皮膚炎分野についてアルフレッサファーマ株式会社と締結していた共同開発契約が平成20年10月に終了しており、第Ⅲ相臨床試験については、今後、新たなパートナーを決定次第、開始したいと考えております。

北米及び欧州においては、アトピー性皮膚炎等に対する開発販売権をトランスクリプションファクターセラピューティクス社に許諾しております。

血管再狭窄予防分野においては、メディキット株式会社及び株式会社ホソカワ粉体技術研究所と共同探索研究を行っております。

3 HVJ-E非ウイルス性ベクター

HVJ（Hemagglutinating Virus of Japan、別名センダイウイルス）の中のゲノムを全て除去し、膜のみを用いるベクターがHVJエンベロープベクター（以下、HVJ-E非ウイルス性ベクター）です。

HVJ-E非ウイルス性ベクターは、膜に細胞を融合（細胞融合）する作用があることから、遺伝子等の物質を細胞に導入する効率が高く、しかもウイルスゲノムが全て除去されているため、ヒトに対する安全性も高いベクターです。

【開発状況】

癌免疫療法剤（開発コード：GEN0101）として医薬品分野に応用する研究開発を実施しております。

【提携状況】

子会社ジェノメディア株式会社では、GEN0101につき、株式会社TSD Japanに対し、前立腺癌分野の国内での独占的製造、開発、販売権を供与しております。

また、HVJ-E非ウイルス性ベクターの遺伝子機能解析用キットを主とする関連製品に関する全世界独占的実施権を石原産業株式会社に許諾しており、同社からHVJ-E非ウイルス性ベクターと補助剤をキット化した「GenomONE」等が発売されております。

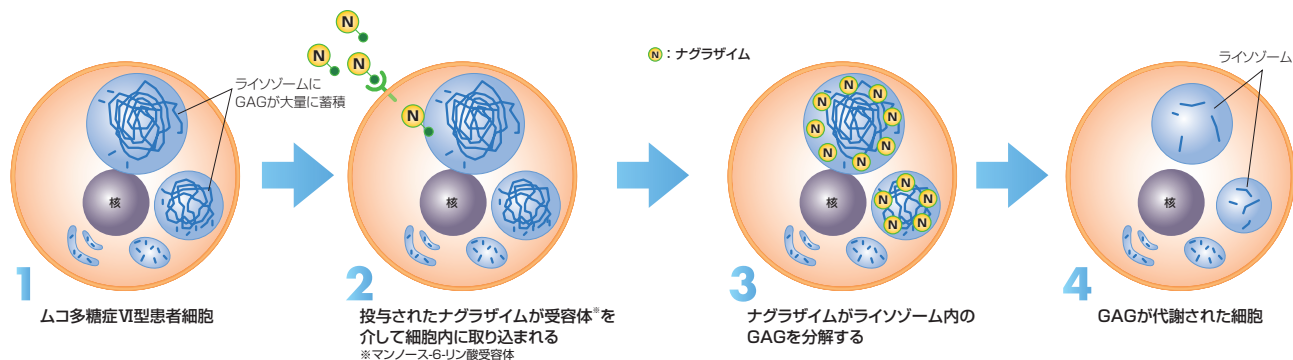
Naglazyme® (GALSULFASE)



遺伝子組換えムコ多糖症Ⅵ型治療剤
ナグラザイム点滴静注液 5mg

- 1 ナグラザイムは、ムコ多糖症Ⅵ型（マロトー・ラミー症候群）の治療薬として世界で初めて承認を受けた酵素補充療法剤で、ムコ多糖症Ⅵ型患者に欠損している酵素アリルスルファターゼ Bを、バイオマリンファーマシューティカル社が遺伝子組換え技術により製造し、開発された医薬品です。欧米における臨床試験において、安全性及び歩行能力の改善等の有効性が確認されています。
- 2 ムコ多糖症Ⅵ型は、アリルスルファターゼ Bという酵素の先天的な欠損によりライソゾーム内にグリコサミノグリカン(GAG)が蓄積し、細胞、組織、臓器系統に進行性の機能不全を引き起こします。
- 3 ムコ多糖症Ⅵ型は、現在、国内で確認されている患者数が数名という極めて希な疾患です。生後1年程度から関節の運動制限や骨変形が認められ、肝脾腫、角膜混濁、聴力障害、心弁膜障害等の種々の症状を呈する進行性の疾患です。従来の治療法としては骨髄移植術がありますが、ドナー確保の問題や移植に伴うリスクのため、より安全で有効な治療法が求められていました。
- 4 当社にとっては、ナグラザイムが製造販売承認を取得した初めての製品になります。

●ナグラザイムの作用メカニズム



連結財務諸表

【連結貸借対照表（要旨）】

（単位：千円）

科 目	当 期 (平成20年12月31日現在)	前 期 (平成19年12月31日現在)
〈資産の部〉		
1 流動資産	8,309,609	11,471,045
2 固定資産	1,368,795	1,711,377
有形固定資産	96,264	111,823
無形固定資産	281,500	389,690
投資その他の資産	991,030	1,209,862
資産合計	9,678,405	13,182,423
〈負債の部〉		
流動負債	714,619	876,895
負債合計	714,619	876,895
〈純資産の部〉		
株主資本	8,983,284	12,486,608
資本金	9,454,618	9,439,094
資本剰余金	7,765,361	7,749,837
利益剰余金	△ 8,236,695	△ 4,702,323
評価・換算差額等	△ 79,916	△ 229,451
その他有価証券評価差額金	△ 46,016	△ 225,219
為替換算調整勘定	△ 33,899	△ 4,231
新株予約権	60,418	18,474
少数株主持分	—	29,896
純資産合計	8,963,785	12,305,527
負債及び純資産合計	9,678,405	13,182,423

ポイント／Point

Point1 流動資産

前連結会計年度に短期運用していた資金を当連結会計年度の研究開発費に充当したことにより有価証券が減少しております。

Point2 固定資産

当社の保有するバイカル インク株式の市場価格下落に伴って評価損を計上したことにより、投資有価証券が減少しております。

Point3 営業損失

提携先からの開発協力金等の減少により、事業収益は前年同期比44.7%減となりました。一方事業費用は、Allovectin-7の開発に関する米国バイカル インクへの開発協力金の計上等により、前年同期比1億24百万円の減少にとどまっております。このため、営業損失は前年同期より6億44百万円拡大しております。

Point4 経常損失

営業損失の拡大に加えて、主に補助金収入の減少により、前年同期より赤字幅は8億10百万円拡大しております。

Point5 税金等調整前当期純損失

経常損失の拡大に加えて、当社の保有するバイカル インク株式の投資有価証券評価損を計上したこと、子会社ジェノメディア株式会社に関連したのれん償却額を計上したこと等により、前年同期に比べて17億84百万円赤字幅が拡大しております。

Point6 営業CF

税金等調整前当期純損失35億50百万円に対し、投資有価証券の評価損9億20百万円及び前渡金の減少4億39百万円の影響で営業活動の結果使用した資金は19億78百万円、前年同期比1百万円の増加となりました。

Point7 投資CF

短期運用していた有価証券を差引23億97百万円償還しております。また、バイカル インクに対して4億22百万円追加投資し、株式会社TSD Japanへ1億円投資しております。

【連結損益計算書 (要旨)】

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)	(自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
事業収益	951,147	1,720,098
事業費用	3,635,802	3,759,843
売上原価	49,339	—
研究開発費	2,911,721	3,147,011
販売費及び一般管理費	674,741	612,831
3 営業損失	2,684,654	2,039,744
営業外収益	186,345	375,026
営業外費用	42,756	66,094
4 経常損失	2,541,065	1,730,813
特別損失	1,009,929	35,287
5 税金等調整前当期純損失	3,550,995	1,766,100
法人税、住民税及び事業税	13,272	12,665
少数株主損失	29,896	50,315
当期純損失	3,534,371	1,728,450

【連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)】

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)	(自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,978,065	△ 1,976,242
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,526,699	△ 3,668,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	29,993	7,446,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55,080	△ 4,029
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	△ 476,452	1,797,768
現金及び現金同等物の期首残高	6,276,024	4,478,255
現金及び現金同等物の期末残高	5,799,571	6,276,024

【連結株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	当 期 (自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)									
	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成19年12月31日残高	9,439,094	7,749,837	△ 4,702,323	12,486,608	△ 225,219	△ 4,231	△ 229,451	18,474	29,896	12,305,527
連結会計年度中の変動額										
新株の発行 (新株予約権等の行使)	15,523	15,523	—	31,047	—	—	—	—	—	31,047
当期純損失	—	—	△ 3,534,371	△ 3,534,371	—	—	—	—	—	△ 3,534,371
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	179,203	△ 29,668	149,534	41,943	△ 29,896	161,582
連結会計年度中の変動額合計	15,523	15,523	△ 3,534,371	△ 3,503,324	179,203	△ 29,668	149,534	41,943	△ 29,896	△ 3,341,742
平成20年12月31日残高	9,454,618	7,765,361	△ 8,236,695	8,983,284	△ 46,016	△ 33,899	△ 79,916	60,418	—	8,963,785

【貸借対照表 (要旨)】

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成20年12月31日現在)	(平成19年12月31日現在)
〈資産の部〉		
流動資産	8,007,497	11,340,725
固定資産	1,357,372	2,072,400
有形固定資産	71,932	76,685
無形固定資産	234,437	256,078
投資その他の資産	1,051,002	1,739,636
資産合計	9,364,869	13,413,125
〈負債の部〉		
流動負債	693,858	886,531
負債合計	693,858	886,531
〈純資産の部〉		
株主資本	8,656,609	12,733,339
資本金	9,454,618	9,439,094
資本剰余金	7,765,361	7,749,837
利益剰余金	△ 8,563,369	△ 4,455,592
評価・換算差額等	△ 46,016	△ 225,219
その他有価証券評価差額金	△ 46,016	△ 225,219
新株予約権	60,418	18,474
純資産合計	8,671,011	12,526,594
負債及び純資産合計	9,364,869	13,413,125

【損益計算書 (要旨)】

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)	(自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
事業収益	857,810	1,679,801
事業費用	3,339,515	3,483,633
売上原価	49,339	—
研究開発費	2,646,122	2,909,536
販売費及び一般管理費	644,054	574,096
営業損失	2,481,704	1,803,832
営業外収益	121,641	226,889
営業外費用	37,859	64,823
経常損失	2,397,922	1,641,766
特別損失	1,704,044	34,100
税引前当期純損失	4,101,966	1,675,867
法人税、住民税及び事業税	5,810	5,810
当期純損失	4,107,776	1,681,677

【株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

当期 (自平成20年1月1日 至平成20年12月31日)

	株主資本				評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
平成19年12月31日残高	9,439,094	7,749,837	△ 4,455,592	12,733,339	△ 225,219	18,474	12,526,594
事業年度中の変動額							
新株の発行 (新株予約権等の行使)	15,523	15,523	—	31,047	—	—	31,047
当期純損失	—	—	△ 4,107,776	△ 4,107,776	—	—	△ 4,107,776
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	179,203	41,943	221,146
事業年度中の変動額合計	15,523	15,523	△ 4,107,776	△ 4,076,729	179,203	41,943	△ 3,855,582
平成20年12月31日残高	9,454,618	7,765,361	△ 8,563,369	8,656,609	△ 46,016	60,418	8,671,011

(平成21年3月27日現在)

会社概要

Corporate Data

会社名：アンジェス MG株式会社
 (英文名：AnGes MG, Inc.)
 会社設立：平成11年12月
 決算期：12月31日
 資本金：9,454百万円 (平成20年12月31日現在)
 従業員数：69名 (平成20年12月31日現在)

■事業所

■本社

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号
 彩都バイオインキュベータ4階

■彩都研究所

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号
 彩都バイオインキュベータ4階

■東京支社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目20番14号 三田鈴木ビル5階

■役員

取締役会長	榎	史	朗
代表取締役社長	山	田	英
取締役	佐	味	俊
取締役	中	本	浩
取締役	玄	番	岳
取締役	森	下	竜
取締役	北	里	一
常勤監査役	大	村	憲
監査役	遠	山	伸
監査役	菱	田	忠

■アンジェス MGグループ

会社名	資本金 主要な事業内容	当社議決権比率
アンジェス インク	100千米ドル 米国での遺伝子医薬品の臨床開発	100.0%
アンジェス ユーロ リミテッド	50千英ポンド 欧州での遺伝子医薬品の臨床開発	100.0%
ジェノメディア 株式会社	348,250千円 癌免疫療剤の研究開発、新規有用 遺伝子及び分子の探索、遺伝子機能 解析	72.3%

(平成20年12月31日現在)

株式の状況

Stock Information

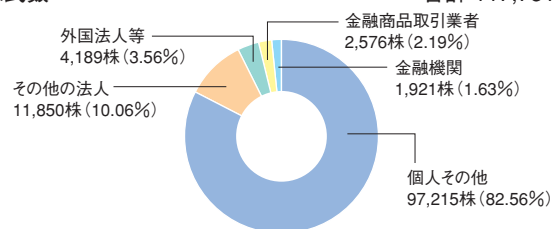
発行可能株式総数 370,464株
 発行済株式の総数 117,751株
 株主数 19,541名

■大株主の状況

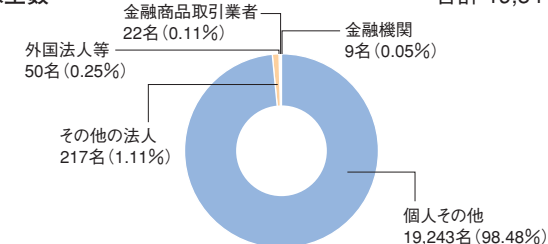
株主名	持株数	議決権比率
森下 竜一	9,134株	7.75%
中村 敏一	7,000株	5.94%
有限会社イー・シー・エス	3,925株	3.33%
森下 翔太	2,400株	2.03%
森下 真弓	2,200株	1.86%
バイオフロンティア・グローバル投資事業組合	2,130株	1.80%
小谷 均	2,101株	1.78%
富田 憲介	1,503株	1.27%
野村證券株式会社	1,487株	1.26%
坂田 三和子	1,400株	1.18%

■所有区分別 株式分布状況

株式数 合計 117,751株



株主数 合計 19,541名



株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領株主
確定日 12月31日

中間配当金受領株主
確定日 6月30日

定時株主総会 毎年3月中

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120—232—711（通話料無料）

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.anges-mg.com/>
（ただし、電子公告によることが出来ない事故、その
他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞
に公告いたします。）

（ご注意）

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種
お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座
管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座
を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿
管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので
ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページをご覧ください。

最新のニュースリリースやIR資料などを
掲載しております。ぜひご覧ください。

— ホームページアドレス —

<http://www.anges-mg.com/>



この報告書に関するお問い合わせ先
東京支社 03-5730-2753